

# #NURSESFORPEACE



## ICN #NursesForPeace – Campaign update 2

(2022年4月14日発表)

ウクライナでの戦争が続き、犠牲者の数が増える中、国際看護師協会 (ICN) は、ウクライナの人々のため、そして私たちの時代の平和のために、即時停戦と敵対行為の停止を繰り返し要求しています。

テレビ画面に映し出される光景や、ウクライナ看護師協会との定期的な連絡から、戦争の影響が壊滅的であることは明らかです。罪のない人々が殺され、家族は引き裂かれ、家や病院が破壊されています。

文明的に前進させる唯一の方法は、長期的な協定をまとめ、荒廃と恐怖に巻き込まれた無数の罪のない人々の命を救う和平合意です。

ICN の#NursesforPeace キャンペーンは勢いを増しており、集められた資金は現在、ウクライナ看護師協会やモルドバ、スロバキア、ルーマニア、ポーランドなどの友好的な近隣諸国の看護師協会を通じて、ウクライナの現場の看護師たちに分配されています。

皆様からの寄付金を最前線の看護師の手に届けるという私たちの計画に沿って、集まった資金は現在、同国の最も困難な状況にある看護師の手に届き、皆様の寛大さのおかげで、現実に効果をもたらしていることをご報告します。

ICN の#NursesForPeace キャンペーンは、看護師がウクライナの看護師との連帯を表明し、敵対行為の終結を求める私たちの声を支持し、ウクライナ人道基金に寄付できるようにするために3月3日に立ち上げられました。

このオンライン・キャンペーンは、45万人以上の看護師を代表する組織を含む約3,000人の署名を集め、#NursesforPeace Facebook フレームは13,000人以上に利用されています。ソーシャルメディア上では、68万件のインタラクションと33万6千件のシェアを含め、1億人以上の人々にリーチしています。

ICN パメラ・シプリアーノ会長は次のように述べています。「私たちのキャンペーンは、ウクライナの看護師の窮状に対する認識を高めることに成功しました。また、個々の看護師や看護団体の寛大な心にも圧倒されました。私たちは、集まった資金を最もニーズの高い看護師に確実に届けています。世界中の看護師を代表して、ICN が世界中の看護職の中心であることを認識し、困っている仲間に援助の手を差し伸べてくれた皆様に感謝します。」

ICN #NursesforPeace キャンペーンと資金の受領について、ウクライナ看護師協会の Tetyana Chernyshenko 会長は次のように述べています。「ウクライナ看護師協会は、ICN と世界のすべての看護師が、ウクライナの看護師のために大きな援助と支援をしてくださったことに心から感謝します。私たち一人ひとりにとって、この世界に助けてくれる仲間がいると感じることは、非常に大切なことです。

ウクライナは全面的な侵略により戦争状態にあります。この恐ろしさは言葉では言い表せないほどで、ウクライナの全住民が苦しんでいます。すべてのウクライナ国民は敵と戦うために立ち上がり、勇気をもって我が国の独立と民主主義を守っています。多くの残虐行為があり、何十万もの家屋、学校、幼稚園、大学、病院、産院、鉄道駅が破壊されました。

医師や看護師などすべての医療従事者は、このような困難な状況や敵の軍事兵器による絶え間ない砲撃の中で、24 時間体制で患者にケアを提供するために、肩を並べ、ひとつのチームとして立ち上がっているのです。看護師は、戦時中は専門職であると同時に心理面のサポーターでなければならないことを自覚して、非常に懸命に働かなければならないのです。」

Sumy Regional Organisation of Junior Medical Specialists の Lyubov Prykhodko 理事長は、次のように述べています。「私たちの国、私たちの看護師にとってこのような困難な時期に、皆様の支援、理解、助けを感じました。私たちの看護師が重い病を克服し、失った住居を再建し、愛する人を失った困難な時を支えるために、皆様の支援はとてもタイムリーで、本当に必要なものでした。苦しい時に差し伸べられた手が祝福されることを信じ、心からお礼を申し上げます。」

Association of Nurses of the Nikolaev area の Nadezhda Shulgina 会長は、次のように述べています。「我が国にとって困難なこの時期に、私たちは皆、互いに支え合い、必要とする人々を助け、敵に勝ち、強力で誇り高く堂々とした我が国家の強化とさらなる発展のために団結しています。『助ける (help)』という言葉は、今世界で最も広く使われている言葉です。先日、ICN から経済的援助を受けました。不安で困難な状況にある私たちを見捨てないでくださってありがとうございます。私たちにどれほど強さがあるとしても、支援は力を増してくれます。皆様の関心と支援は、私たちにとってかけがえのないものでした。共に強くなりましょう。」

Association of Nurses of the Kharkiv region の Natalia Florina 会長は、次のように述べています。「ICN が、敵対行為で被害を受けたハルキウ地方の看護師たちに物質的な支援を提供してくださったことに、心から感謝します。私たちは常々、『ホワイトハート』は看護の国際的な象徴であり、喪失と悲しみの困難な時期を乗り越え、勝利への希望を与えてくれる慈悲、信頼、愛の象徴であると考えています。ウクライナの看護師は、適格な医療を提供し、兵士や子どもたちの命を救い、勝利への大きな信念を持って働いています。」

今週、ワルシャワでポーランド看護協会を訪問した後、ICN ハワード・カットン事務局長は次のように述べました。「この悲劇を目の当たりにして、世界中の看護師や人々が、ウクライナの看護師を支援する私たちのキャンペーンへの支持を通じて、いかに人間性と寛大さを示してくれたかを知り、圧倒されています。これらの資金が今、最も必要としている看護師の手に届いていることを嬉しく思います。」

欧州看護師協会連合 (EFN) の Paul De Raeve 事務局長とともにポーランドを訪れたカットン事

務局長は、ポーランド看護協会の Grazyňa Wojcik 会長に対し、会長やポーランドの看護師が、看護師を含むウクライナ難民の支援に多大な貢献をされ、さらに今回の訪問を調整してくださったことに感謝の意を表しました。ICN と EFN は、ポーランド看護協会の代表者、大学の学部長、看護規制担当者、ポーランド保健省の高官と共に参加することができました。

カットン事務局長は次のように述べています。

「ポーランド看護協会をはじめ、個々の看護師が、ウクライナの看護師を含む難民を支援し、安全な場所にたどり着いたという活動を見て、謙虚な気持ちになり、胸が熱くなりました。私たちは、ウクライナの看護師がポーランドで働くことができ、EU の登録看護師の要件を満たすことができる『ブリッジコース』の提供を通じて、EU 諸国での看護師登録に向けて前進する必要性について議論しました。私たちは、世界保健機関（WHO）と WHO 欧州地域に対し、こうした議論とその進展について、常に情報を提供しています。

私はある難民センターを訪れましたが、そこでは 5,000 人もの人々（その大半は女性と子ども）が、会議場を改造した建物に収容されていました。彼らの基本的なニーズは満たされていましたが、私が驚いたのは、これほど劇的な生活の激変に直面しているにもかかわらず、彼らの静かな威厳が感じられたことです。ほんの 6 週間前まで、彼らは普通の生活をしていたのに、今は一人きりで、その多くは戦争で戦っているパートナーと離れて、着のみ着のままでキャンプのベッドで生活しているのです。ポーランドが 200 万人以上の難民を受け入れたことを考えると、ポーランドの人々の心の広さがわかります。難民センターには、看護師を含む小さなボランティアの保健医療チームがあり、その状況下でできる限りのケアを提供していました。

ICN は、世界中の看護師を結びつけるという伝統を守り続け、私たち全員が望む平和を強く求め続けています。なぜなら、以前にも申し上げたように、平和と健康は切っても切れないものであり、人間の基本的な尊厳を達成するために不可欠なものだからです。」

（和訳：日本看護協会）